

## 製品安全データシート

管理番号:N0-6783101

## 1. 化学物質等及び会社情報

製品名(商品名)	テイクワン L
会社名	日本曹達株式会社
住所	〒100-8165 東京都千代田区大手町2-2-1
担当部門	化学品エコケアG
TEL	03-3245-6281
FAX	03-3245-6221
緊急連絡先	化学品エコケアG
TEL	03-3245-6281
作成日	1995年6月1日
改訂日	2010年2月25日(03版)

## 2. 危険有害性の要約

## 【GHS分類】

火薬類	分類対象外
可燃性/引火性ガス	分類対象外
可燃性/引火性エアゾール	分類対象外
支燃性/酸化性ガス	分類対象外
高压ガス	分類対象外
引火性液体	区分外
可燃性固体	分類対象外
自己反応性化学品	分類対象外
自然発火性液体	区分外
自然発火性固体	分類対象外
自己発熱性化学品	分類できない
水反応可燃性化学品	分類対象外
酸化性液体	分類できない
酸化性固体	分類対象外
有機過酸化物	分類対象外
金属腐食性	分類できない
急性毒性:経口	区分外
急性毒性:経皮	区分外
急性毒性:吸入(ガス)	分類対象外
急性毒性:吸入(蒸気)	分類できない
急性毒性:吸入(粉塵・ミスト)	区分 4
皮膚腐食性/刺激性	区分 1A-1C
眼に対する重篤な損傷/眼刺激性	区分 1
呼吸器感作性	区分 1
皮膚感作性	区分外
生殖細胞変異原性	分類できない
発がん性	分類できない
生殖毒性	分類できない
特定標的臓器/全身毒性(単回曝露)	区分 1(呼吸器系)
特定標的臓器/全身曝露(反復曝露)	区分 1(歯、呼吸器系)
吸引性呼吸器有害性	分類できない
水生毒性(急性)	区分 2
水生毒性(慢性)	区分外

【GHSラベル要素】 絵表示又はシンボル	感嘆符 腐食性 健康有害性
注意喚起語	危険 吸入すると有害 重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷 重篤な眼の損傷 吸入するとアレルギー、喘息又は呼吸困難を起こすおそれ 呼吸器の障害 長期又は反復曝露による歯、呼吸器系の障害 水生生物に毒性
(予防策)	1)予防策については、「7. 取扱いおよび保管上の注意」、「8. 暴露防止措置及び保護措置」を参照。 2)屋外又は換気の良い区域でのみ使用すること。 3)ミスト、蒸気、スプレーの吸入を避けること。 4)保護手袋／保護眼鏡／保護面を着用すること。 5)取り扱い後は、よく手を洗うこと。 6)換気が十分でない場合には、呼吸保護具を着用すること。 7)この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。 8)環境への放出を避けること。
(応急処置)	1)応急処置については、「4. 応急措置」、「5. 火災時の処置」を参照。 2)吸入した場合：空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪い時は、医師に連絡すること。 3)皮膚又は髪に付着した場合：直ちに汚染した衣服を脱ぐこと／取り除くこと。皮膚を流水／シャワーで洗うこと。 4)汚染された衣服を再利用する場合には、洗濯をすること。 5)眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを容易に外せる場合には外して洗うこと。その後も洗浄を続けること。 6)飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。直ちに医師に連絡すること。 7)呼吸に関する症状が出た場合や暴露した場合には、医師に連絡すること。 8)気分が悪い場合は、医師の診断／手当てを受けること。
(保管)	1)保管については、「7. 取扱い及び保管上の注意」を参照。 2)施錠して保管すること。 3)直射日光の当たらない、換気の良い場所に保管すること。 4)酸性なので、アルカリ性の化学物質と同じ場所で貯蔵又は保管しないこと。 5)可燃性物質、還元剤、強酸化剤、金属等から離して保管すること。
(廃棄)	1)廃棄については、「13. 廃棄上の注意」参照。 2)内容物や容器を廃棄する場合は、法に従い、産業廃棄物処理業者等に処理を委託すること。

3. 組成、成分情報	
区別	混合物
化学名	塩化水素を含む尿石除去剤
組成情報	
《塩酸のデータ》	
CAS No.	7647-01-0
含有量	22%
化審法	官報公示整理番号(1)-215
安衛法	なし(公表化学物質扱い)
《水、着色剤、腐食防止剤》	
CAS No.	記載せず
含有量	78%
4. 応急措置	
飲み込んだ場合	意識があっても無理に吐かせてはならない。水で口の中をすすぎ、速やかに医師の手当を受ける。
吸入した場合	新鮮な空気のある場所に移し、患者を毛布等にくるんで安静にし、呼吸しやすい姿勢で休息させる。速やかに医師の手当てを受ける。
皮膚に付着した場合	直ちに汚染された衣服や靴を脱がせ、付着又は接触部を多量の水で十分に洗い流す。広範囲にわたる薬傷の場合は、安静にさせ、発現する症状に応じて吸入した場合と同様な処置を行う。
眼に入った場合	直ちに多量の水道水(流水)で15分間以上洗眼(眼球、まぶたの隅々まで)した後、速やかに眼科医の手当てを受ける。
5. 火災時の処置	
消火方法	不燃性であるが、容器は燃える。周辺火災の場合、速やかに容器を安全な場所に移す。移動不可能な場合は容器及び周辺に散水して冷却する。
6. 漏出時の措置	
	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 漏出した場所の周辺にロープを張り、「立入禁止」の措置を行い、風下の人を退避させる。</li> <li>2) 作業の際には必ず保護眼鏡、防毒マスク、保護手袋、保護衣等の保護具を着用し、風下で作業をしない。</li> <li>3) 少量の場合は、漏出した液は土砂に吸収させて密閉可能な容器に回収する。</li> <li>4) 多量に漏出した場合は、盛土等で囲って流れを止め吸収させるか、安全な場所に導き遠くから徐々に注水しある程度希釈した後、消石灰、ソーダ灰等で中和する。これを多量の水を用い洗い流す。洗い流す場合、濃厚な廃液が下水溝、河川、田畑等へ流入しないよう注意する</li> </ol>
7. 取扱い及び保管上の注意	
取扱い	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 必ず換気設備のある場所で取り扱い、できるだけ風上で作業をする。</li> <li>2) 容器の開栓はできるだけ短時間とし、できるだけ蒸気の発生、液洩れ、あふれ等をさせないように取り扱う。</li> <li>3) 吸入したり、眼や皮膚に接触したりしないようゴーグル型保護眼鏡、防毒マスク、ゴム手袋及びその他の保護具を必ず着用する。</li> <li>4) 酸性なので、塩素系の洗浄剤や漂白剤と混合・使用してはならない。</li> </ol>
保管	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 直射日光の当たらない換気の良い場所に保管する。</li> <li>2) 酸性なので、アルカリ性の化学物質と同じ場所で貯蔵又は保管しない。</li> <li>3) 可燃性物質、還元剤、強酸化剤、金属等から離して保管する。</li> </ol>

## 8. 暴露防止措置及び保護措置

## 《塩酸のデータ》

厚生労働省管理濃度 設定されていない

許容濃度

## 《塩酸のデータ》

産業衛生学会 7.5mg/m3(2009年度)

ACGIH TLVs(CEIL) 2ppm(2008年)

設備対策

発生源の密閉化、又は局所排気装置を設置する。

取り扱い場所の近くに、シャワー・洗眼器を設置することが望ましい。

眼の保護具

ゴーグル型(防毒マスクの場合は顔面シールドの着用を推奨する)

手の保護具

ゴム又はネオプレンゴム製

呼吸器用の保護具

酸性ガス用防毒マスク(漏洩時は空気呼吸器)

皮膚及び身体の保護具

ゴム衣、ゴム長靴、ゴム前掛け(ゴム衣がない場合)

## 9. 物理及び化学的性質

外観等

形状

液体

色

赤色透明

臭い

刺激臭

その他

発煙性あり

融点

データなし

粘度

1.23cst(20℃)

pH

1.31(1%液 20℃)

溶解度

任意の割合で溶解(水)

比重

1.10(20℃)

## 10. 安定性及び反応性

安定性・反応性

- 1) 強酸性物質なのでアルカリ性物質と激しく反応し、発熱する。
- 2) 金属と反応し、可燃性の水素を発生する。水素は空気と混ざり合うと爆発するので注意する。

## 11. 有害性情報

総合的な有害性情報

- 1) 医薬用外劇物である。腐食性 眼に触れると強い刺激と痛みがあり、粘膜が激しく侵され失明することがある。皮膚に触れるとやけど(薬傷)を起こす。
- 2) 発煙性があり、吸い込むと呼吸器粘膜を侵す。、多量に吸入すると肺水腫を起こすことがある。
- 3) 長期又は反復暴露の影響:長期にわたる又は反復暴露により、歯、呼吸器を損傷する。
- 4) 製品に関する情報はない。構成成分の塩酸についての情報は、次のとおりである。
- 5) 塩化水素:IARCはグループ3、ACGIHはA4に分類されているが、ラット/マウスの発がん性試験では、発がん性を示す証拠は認められず、ヒトの疫学調査の多くは、がん発生と塩化水素暴露との関係に否定的である。

刺激性

《塩酸のデータ》

皮膚刺激性

皮膚刺激性試験で、1-4時間暴露により濃度次第で腐食性が認められた。(ウサギ) [\*01]

眼刺激性

ウサギを含めた複数の動物試験の結果、眼に対する重度の刺激性又は損傷性、腐食性を示した。(ウサギ) [\*01]

急性毒性

《塩酸のデータ》

急性経皮毒性	LD50(ウサギ):>5010mg/kg [*01]
急性経口毒性	LD50(ラット):238-277mg/kg [*01]
急性吸入毒性	LC50(ラット):0.42mg/L(4hr) [*01]

## 12. 環境影響情報

## 環境影響情報

- 1)本製品に関するデータはないが、塩酸に関するデータを次に示す。
- 2)完全に水に溶け、酸性のため、水生生物に毒性がある。植物の成長に有害である。

## 環境毒性

## 《塩酸のデータ》

## 急性魚毒性

LC50(オオミジンコ):0.492mg/L(48h) [\*02]

## 13. 廃棄上の注意

- 1) 攪拌しながら石灰乳、苛性ソーダ等の薄い水溶液で中和した後、多量の水で希釈して流す。
- 2)内容物を明確にした上で、産業廃棄物処理業者等に処理を委託する。

## 14. 輸送上の注意

- 1) 荷役作業は慎重丁寧にし、容器に打撃や衝撃を与えたり、手カギやフォークリフトの爪で突き刺したりしないよう行なう。
- 2) 輸送中に容器が転倒・転落しないように積載するとともに、休憩時等の盗難・紛失に注意する。
- 3) 1回で5t以上の量を車両で運搬する場合は、交替運転者、標識、保護具、緊急時の措置を記載した書面等、毒物及び劇物取締法に定められた事項を遵守する。

国連分類(クラス)

8 (腐食性物質)

国連分類(容器等級)

II

国連分類(国連番号)

3264(その他の腐食性物質(無機物)(液体)(酸性のもの))

## 15. 適用法令

## 《毒物及び劇物取締法》

劇物

## 《労働安全衛生法》

通知対象物

塩酸(政令番号 98 塩化水素)

表示物質

非該当

特化則

第三類物質

## 《化学物質管理促進法》

非該当

## 《道路法》

長大・海底トンネル等輸送

制限物質

## 《輸出貿易管理令》

別表第2物質

## その他の情報

記載内容の問い合わせ先	化学品エコケアG (TEL:03-3245-6281 FAX:03-3245-6221)
MSDS引用文献	1) 化学防災指針集成 I 物質編 p. 1-349(1996) 2) 国際化学物質安全性カード 日本語版 第一集 p120(1992) 3) 毒劇物基準関係通知書 改訂増補版p22(1991) 4) Registry of Toxic Effects of Chemical Substances 1985～1986、p . 2717(1987) 5) The Sigma-Aldrich Library of Chemical Safety Data、2nd. ed.、p .1896(1988) 6) Chemical Safety Data Sheet、SD-39(1970) 7) Dangerous Properties of Industrial Materials、7th ed.、p. 190 0(1989)
各項引用文献	〔*01〕 SIDS(2002) 〔*02〕 SIDS(2005)

記載内容は現時点で入手できた資料、情報データに基づいて作成していますが、含有量、物理化学的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではありません。又、注意事項は通常の取扱いを対象としたものなので、特殊な取扱いの場合には用途・用法に適した安全対策を実施の上、利用してください。

## 中毒したときの緊急連絡先

(財)日本中毒情報センター

中毒情報センター中毒110番(大阪)  
072-727-2499(終日)  
中毒情報センター中毒110番(つくば)  
029-852-9999(9～21時)